



平成 24 年 1 月 17 日

各 位

会 社 名 日産東京販売ホールディングス株式会社
代 表 者 名 取締役社長 酒 井 信 也
(コード番号 8291 東証第一部)
問 合 せ 先 広報・IRグループ 染谷伸郎
(T E L 03 - 5496 - 5234)

中期事業計画についてのお知らせ

当社はこのたび、2014年3月期までの中期事業計画を策定いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

2011年4月東京エリア再編によるグループ規模の拡大

当社グループは2011年4月に日産自動車株式会社との間で東京地区における販売会社体制を新体制に移行することに合意し、日産プリンス東京販売株式会社、日産プリンス西東京販売株式会社を同一グループとしました。これにより、コア事業である日産ディーラー事業を中心にグループの業容が大幅に拡大いたしました。

2011年度は2010年2月に発表した中期事業計画「新TR-10」の最終年度に当たっており、各指標の目標値を連結売上高745億円、連結営業利益15.7億円、連結経常利益10.4億円としておりましたが、2011年11月に開示いたしました2011年度の業績予想では連結売上高1,510億円、連結営業利益30億円、連結経常利益21億円を見込んでおり、約2倍の事業規模に拡大しております。

昨年、新体制への移行に合わせて新しい中期事業計画の策定に着手いたしましたが、再編にあたって実施した都心エリアの店舗および業者販売部門の日産自動車販売株式会社への移管の影響や東日本大震災の影響の見極めに時間を要したことなどにより、このタイミングでの中期事業計画発表となりました。

今回の中期事業計画は2013年度までの3カ年をさらなる成長戦略への基礎となる安定した収益構造確立に努める期間と位置づけ、下記のような目標値に向けて取り組んでまいります。

2013年度の目標値

➤ 連結売上高	1,600 億円
➤ 連結営業利益率 2.5%	連結営業利益 40 億円
➤ 連結経常利益率 2.2%	連結経常利益 35 億円
➤ 連結有利子負債残高 (2014年3月末)	45 億円
(参考) 2011年3月末残高	160 億円

中期事業計画の骨子

コア事業への回帰の方針の下で事業会社の再編を進め、2011年4月に日産プリンス東京販売株式会社、日産プリンス西東京販売株式会社をグループに迎えたことで、グループ全体に対する日産ディーラー事業の占める割合が飛躍的に高まりました。

一方、自動車関連業界の動向は東日本大震災やタイの大洪水等の自然災害からの回復や政府による景気浮揚策等で一定の需要回復が見込まれるものの、中長期的には需要は減少傾向にあり、保有台数についても年々減少すると予測されるなど、マーケットの成長性は期待できない状況にあります。

このような環境下、計画の達成に向けて以下の取り組みを実施してまいります。

基本方針

1. ディーラー事業におけるマーケットシェアおよび収益の拡大
2. 持株会社体制の強化
3. コア周辺事業の整理統合

1. ディーラー事業におけるマーケットシェアおよび収益の拡大

主力事業である日産ディーラー事業においては、ディーラー3社がお互いに切磋琢磨しながらベストプラクティスを共有し、お客様に1つのグループとして一体感を持って向き合える新しいディーラー体制を構築してまいります。

日産自動車の戦略に沿ってマーケットシェア拡大を図るとともに、スケールメリットを生かしたオペレーション統一等によりコストの低減を行い、管理部門についても3社の間で業務プロセスの共通化を進め、日産自動車グループの地域統括会社およびビジネスセンターとの連携をさらに深めて本社機能の効率化を行います。

これにより収益力の拡大を実現し、規模のみならず収益力においても日産圏での最優良会社を目指してまいります。

2. 持株会社体制の強化

ディーラー3社の集約に対応し、上場持株会社として、子会社群に対し十分なガバナンスと、経営指導力を発揮できる持株会社体制を構築してまいります。

3. コア周辺事業の整理統合

コア事業の周辺事業についても、今回の再編に伴い重複している機能について整理を進め、コア事業との間で大きなシナジーを発揮してまいります。

以上の骨子を軸とした取り組みにより安定的・継続的な収益およびキャッシュフローを確保し、グループの有利子負債の削減を進めて、さらなるグループの成長と早期の復配に向けた財務体質の強化に取り組んでまいります。

以上